

■第5回新しい学校づくり検討会での意見と回答

資料1

区分	意見	回答
広さ・数が足りるか	校舎・体育館・グラウンド	開校時の推計児童生徒数から、校舎や体育館、グラウンドの必要面積を算出している。 【相良地域】 校舎 11,800㎡、屋内運動場(大、小) 2,300㎡、グラウンド 9,930㎡ 【榛原地域】 校舎 14,300㎡、屋内運動場(大、小) 2,300㎡、グラウンド 12,650㎡
	特別教室	各学年の標準時数、週コマ数、学級数から学校全体の必要教室数を推計している。
	特別支援教室	・今後も現在と同程度の割合で特別支援級の子どもの増加すると推計し、教室数を算出している。 ・将来的に制度が変更されることも想定した柔軟な部屋の分け方等は検討したい。
造成・配置	校地拡張が可能か	・相良地域の校地面積は基準以上の広さが確保できている。拡張する場合は、山側に拡張すると残土が多く処分費が莫大となる。また、進入路側にはバイパス予定地があるため、拡張は難しい。 ・榛原地域は、既存の学校の教育活動を継続しながらの建設となるため拡張が必要となる。ただし、校地としては十分な広さがあるため、必要最低限の拡張範囲とする。
	造成 1段/グラウンドと校舎を同じ面にして2段【相良地域】	1段の平らな敷地とする。もし2段となる場合は、校舎とグラウンドが同面になるようにする。
	駐車場の位置が南になるか【相良地域】	現在示している配置は仮置きであり、配置は設計時の提案とする。
	グラウンドや体育館に緊急車両も進入できるように	配置の条件とする。
校舎	渡り廊下をつけた方がいい	校舎には1棟で四角い校舎、口の字型、L字型、2棟以上をつなぐ等さまざまな形がある。校舎の形は設計時の提案になる。
	校舎の形	
	校舎は南向きの方がいい	ICT機器の使用や温暖化対策として日光の入り具合を調整することも必要だと考える。向きは設計時の提案とする。
	2階に大事なもの(防災倉庫)【榛原地域】	昨年の「七夕台風以来」といわれた豪雨でも榛原中校舎は浸かっている。しかし、さらに安全性を高めるため、榛原地域の学校は1000年に1度の洪水でも校舎が浸からない高さとする。そのため、2階以上に限定する必要はなく、利便性・実用性を優先する。

■第5回新しい学校づくり検討会での意見と回答

資料1

区分	意見	回答
施設の追加等	全天候型で子どもが遊ぶ場所	雨天時に遊べる、部活ができるような場所をつくる。詳細は設計時の提案とする。
	児童生徒用男女更衣室など・職員更衣室	・児童生徒用に、男女別の更衣室を各階に整備する。また、誰もが利用しやすいトイレでも着替えができるよう配慮する。 ・職員用更衣室も男女別に整備する。
	保健室 死角ないように 駐車場から近く送迎しやすい場所に配置	・施設全体を死角が少なくなるよう配慮する。 ・緊急車両や保護者の車を近くに付けることができるよう配慮する。
	外国人特別指導教室	新しい学校では、共用できるものはできる限り共用する考え方がある。そのため、相談室、会議室、少人数指導教室などを柔軟に活用する。
	職員の会議場所	職員室、会議室、相談室、職員コーナー、多目的ルーム等、内容や人数に応じて利用可能な部屋を整備する。
	適応指導教室	・校舎に入ることが難しい子ども向けに、学校の敷地外に教育支援センター(適応指導教室)を整備する。 ・校内には、教室に行くことが難しい子どもの居場所となるよう「(仮称)こころの相談室」を整備する。
	フリースクール	・どちらも子どもの居場所となるようにし、出席扱い、勉強や話ができるスタッフを置く。
	書庫	事務室の近くに鍵付きの書庫または耐火書庫を整備する。
	遊具・花壇・農園	整備する。場所は設計時の提案とする。
	メモリアルスペース	整備する。詳細は設計時の提案とする。
	バリアフリー	施設の必須条件
グラウンド	グラウンド 小中分ける	小中学生がそれぞれ使うグラウンドを整備する。
	400mトラック or 200mトラック×3	トラックのサイズは設計時に学校と相談し決定する。
プール	外や2階からみられる可能性 囲い設置	外部からの視線を遮る対策をする。
	劣化防ぐため屋根を付ける	プールサイドに日除け用の屋根等を設置する。
	水を飲めるようにする装置	設置しない。
	室内、温水	プールを屋内施設とする費用が約2億円、温水とするのにさらに1億円が必要となるため、基本的には屋外とし、日除け等の対策をしたり、プール周りに落葉樹を植えない等の対策をとる。 ただし、設計までの間にまちづくりの計画等により、学校外に共用できるプールが整備されることがある場合は、それを利用することも検討する。

■第5回新しい学校づくり検討会での意見と回答

資料1

区分	意見	回答
コート テニス	テニスコートの位置	相良地域、榛原地域共に近くにテニスコートがある。学校に整備するかは設計時に決定する。
	総合グラウンドのテニスコートを使えばよい(相良)	
通学・ 安全対策	学校敷地に入るための子どもの出入口が少ない	設計時の提案とする。
	自転車入口たくさんつくる	
	敷地内に通学路	
	周りをどう囲むか(門、防犯カメラ)	門の配置は設計時の提案とする。 防犯カメラは適切な位置に設置する。
	駐車場とバスロータリーからの屋根	乗降場所や駐輪場から昇降口まで雨に濡れずに移動できるように屋根などを設置する。
	通学路の整備(竹橋、内山交差点)広さ、歩道【榛原地域】	検討する。
	徒歩・自転車の通学路(広くて明るい道)【相良地域】	新しくつくる進入路は高低差がある道路となる。また、安全面を考えて車と徒歩・自転車の道を分けることが望ましいという警察の見解もあることから、既存の道路を防犯面も考慮した整備(街灯等)等を検討する。
その他	総合グラウンドへ行く道を整備【相良地域】	検討する。
	調整池を臨時駐車場に	調整池の活用は今後の検討とする。
	参観日等にスクールバスで保護者送迎	運用面は今後の検討とする。
	給食は自校式がいい	吉田町との協議、施設の耐用年数等も考慮し、将来的に給食調理場を建設できる場所を用意する。
	アースランチ継続	キャリア教育の1つとして進めており、再編後も継続できる取組としてプログラム開発している。